

網走運動公園再整備構想パブリックコメントの実施結果について

1 実施期間

令和7年12月19日（金）から令和8年1月31日（土）

2 意見の提出状況

51件（20名）

3 意見の概要と意見に対する考え方

番号	意見の概要	意見に対する考え方
1	埼玉から転入し、体育館やスパーク網走など、雨や雪の日でも運動できる施設の充実に感動した。値上がりしても構わないので、今後とも体育施設を維持してほしい。	「負担が増えても施設を維持してほしい」という貴重なご意見は、今後の「施設整備や維持管理・運営手法の検討」において、持続可能な運営モデルを構築する際の参考とさせていただきます。
2	スパーク網走のような屋内施設は、北海道の冬でもボール遊びができ利便性が高い。学生が多く住む駒場エリアにあるからこそ行きやすいので、別エリアへの移転はやめてほしい。	新施設は現在の網走運動公園内に建設する計画であり、学生や近隣の皆様の利便性を維持し、引き続き冬場の運動環境を提供していく考えです。
3	素晴らしい室内練習場があることを知らない人も多いと思う。網走公式LINEなどで宣伝すれば利用者は増えるのではないか。	SNSを活用した広報につきましては、今後の「施設整備や維持管理・運営手法の検討」の中で、利用率向上策の一つとして検討していく考えです。
4	ロケット公園の遊具が古く少なすぎるので、充実させて子供たちが遊べる施設にしてほしい。	再整備計画において、新屋内運動施設の隣接地に「新遊具広場」を整備することを位置づけており、子供たちが安全に楽しめる環境となるよう、遊具の充実を含めて整備を進めていく考えです。
5	新体育館の建設および、構想案にある通りの場所（現在の市営野球場跡地）への移転に大賛成である。	計画に則り、現在の「網走市営野球場」跡地に「新総合体育館」を建設することで、スポーツ環境の充実を図るよう考えます。
6	現体育館の跡地を駐車場にするとと思われるが、陸上競技場と大会が重なると駐車スペースに苦慮している現状があるため、工夫が必要である。	大会重複時の駐車場の混雑は重要な課題と認識しており、整備にあたっては、十分な台数の確保とともに、今後の詳細検討において、動線計画や運用ルールを含めた対策を検討していく考えです。
7	陸上競技場は雨天時の対応に苦慮している。体育館の空きスペースでの避難場所確保や、本部棟の拡張・建替え、観客スタンドの新設などを検討してほしい。ホクレンディスタンスなどの公認大会を今後も継続・発展させるために施設の充実を要望する。	陸上競技場は「継続使用」の方針ですが、ご要望の本部棟拡張やスタンド新設等は、今後の改修時の貴重なご意見とさせていただきます。

8	「網走に行ったら良い記録が出る」と言われるような運動公園になるよう、施設面でのサポートをお願いしたい。	選手の皆様が最大限のパフォーマンスを発揮できるように、持続可能な施設整備に取り組んでまいります。
9	人口減少や施設老朽化を踏まえた「集約・機能整理」という方向性は現実的であり、特に建物状況と活用度の2軸で評価・判断している点は、将来の財政負担や維持管理を見据えた適切な判断であると評価する。	本構想は、客観的データ（建物状況・活用度）に基づき、将来にわたって持続可能なスポーツ環境を確保するため、施設の統合・再整備を行う方針としております。
10	再整備後は、競技利用だけでなく日常的に市民が立ち寄れる理由づくりが重要である。平日や冬季の稼働率向上のため、以下の要素を取り入れるべきではないか。 ・高齢者や親子も利用しやすい、屋内外を連続させたウォーキング動線 ・キッチンカーやイベントに対応できる電源・給排水などの最低限のインフラ整備 ・季節や曜日で使い分けられる多目的なオープンスペース	ウォーキング動線やキッチンカー等の機能は、今後の「導入機能の検討」の中で、重要な視点として議論していく考えです。
11	常設施設を増やすのではなく、「使い方や運営の工夫」によって賑わいを生む視点を持ってほしい。今後の詳細検討にあたっては、競技団体だけでなく、日常的に公園を利用する一般市民の視点も段階的に取り入れ、実態に即した整備にしてほしい。	今後の「詳細検討」では、競技団体だけでなく広く市民の皆様の声を取り入れ、特定の利用者に偏らない持続可能な整備を進めていく考えです。
12	常設できる柔道場の設置。メインアリーナとサブアリーナの確保。サブアリーナに関しては現在の第2・3体育室の1・5倍程度が必要。大会等もあるのでぜひご検討いただきたい。	今後行う「導入機能や必要面積の検討」において、貴重なご意見として扱わせていただきます。
13	社会情勢や財政状況に応じた適切な規模での再整備を最優先としつつ、交流人口増加や地域活性化に繋げる視点も加味してほしい。	維持管理可能な適正規模を前提としつつ、地域活性化に寄与する機能についても検討していく考えです。
14	新施設の機能（複合化・多機能化）検討にあたっては、利用団体だけでなく広く市民から意見を聴取する場を設けてほしい。また、高台にある立地特性を活かし、一時避難所等の防災機能の確保も検討してほしい。	新施設の機能は、今後の「導入機能の検討」において、広く市民のご意見を伺う考えです。また、国の指針に基づいた防災機能（避難所）の確保についても検討を進めていく考えです。
15	施設整備（イニシャルコスト）における交付金・補助金の活用検討はもちろん、稼働後の維持管理（ランニングコスト）については「網走市ゼロカーボンシティ宣言」に則り、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを検討してほしい。	今後の検討の中で、イニシャルコストは交付金等の活用の検討、ランニングコストについては、脱炭素や高効率設備の導入によるエネルギー管理を議論してまいりたいと考えます。

16	構想実現まで10年を要し、敷地も広大であることから、将来想定される他の市有施設（市民会館等）の再整備の方向性によっては、本構想も柔軟に対応することを期待する。	今後10年の事業推進にあたっては、社会情勢や他施設の再編状況とも整合を図り、柔軟かつ全体最適の視点で対応してまいりたいと考えます。
17	運営管理コストの増大を見据え、ネーミングライツ（命名権）の活用を当初から視野に入れるなど、民間活力の導入と併せた柔軟な発想で構想を実現してほしい。	今後の「施設整備や維持管理・運営手法の検討」において、ネーミングライツやPPP/PFI（官民連携）の導入については積極的に検討してまいりたいと考えます。
18	建替えの必要性は理解するが、利用する競技や活用方法が異なる施設を、単純な「7施設の相対評価」だけで判断するのは疑問である。利用者内容、競技別の利用状況、季節性を考慮した計画にしてほしい。	「相対評価」は、施設総量適正化の方向性を定めるための一次的な判断基準です。ご指摘の施設特性や季節性につきましては、今後の「施設利用団体や市民ニーズを踏まえた詳細検討」の中で十分に考慮し、具体的な計画に反映させていく考えです。
19	オホーツクドームは、冬場や雨天時に屋外競技（サッカー・野球）が実践に近い練習ができる管内唯一の施設であり、競技力向上に貢献している。新施設は単に「利用者数に見合った規模」とするのではなく、オホーツクドームが担ってきた「広さ」や「天井高」などのスペックを確保してほしい。	「天井高」や「広さ」等の仕様は、今後の「導入機能や必要面積の検討」において、利用団体の皆様の声を反映し決定してまいりたいと考えます。
20	道内他地域では人工芝の普及により4月から屋外公式戦が始まっているが、網走は遅れをとっている。「スポーツの街 網走」として、年間を通じて競技に対応できるよう、人工芝グラウンドの新設を要望する。	当面は既存施設の維持管理を優先せざるを得ませんが、いただいたご提案は、今後のスポーツ環境整備における貴重な参考意見とさせていただきます。
21	2050年の人口減少（約2.1万人）を見据え、近隣市（根室市）の事例も参考にしながら、将来の維持管理費が財政負担とならないよう、コンパクトな体育館建設を望む。	新総合体育館は「利用者数に見合った規模」で整備し、今後の「施設整備や維持管理・運営手法の検討」において、建設費・維持費の両面からコスト縮減を図り、将来世代への負担が少ない計画としてまいりたいと考えます。
22	現在の体育館には柔道、剣道、空手が日常的に利用できる環境がない。子供たちの練習環境を整えるため、新体育館には武道場も併設された形で建設されることを望む。	今後の「導入機能の検討」において、関係団体の皆様のご意見や利用需要を把握し、詳細を検討していく考えです。
23	陸上競技場は活用度が高いが、夕方から夜間にかけては暗く、特にバックストレート側では子供とウォーキング利用者の接触事故が懸念される。照明設備の充実を望む。	陸上競技場は「継続使用」の方針ですが、今後の維持管理の中で、安全確保に向けた対策を検討してまいりたいと考えます。
24	市営球場がなくなると、練習場所が呼人（スポトレ）野球場だけになり、子供から大人まで利用するため練習量が減ってしまう。	市営野球場の機能は「スポトレ野球場」へ集約し、新たに「夜間照明設備」を設置する考えです。これにより夕方以降の利用を可能とし、練習量の確保に努めていく考えです。

25	スパーク網走や呼人ドーム（オホーツクドーム）がなくなると、人工芝での実戦的な練習ができなくなり、他地域のチームと技術差がついてしまう。パフォーマンス低下を防ぐため、冬場の練習場所をなくさないでほしい。	既存の2施設は老朽化により統合し、新たに「新屋内運動施設」を整備する考えです。床材や広さなどの仕様については、今後予定している「施設利用団体や市民ニーズを踏まえた導入機能の検討」の中で検討していく考えです。
26	いろいろなスポーツができる施設が壊されるのは悲しい。新しい施設を作るのではなく、今ある施設を「改修工事」して残してほしい。	市営野球場、スパーク網走、オホーツクドームは劣化が著しく、改修は大規模なものとなるため、将来を見据え「建替え・集約」とする考えです。なお、新施設完成までは「オホーツクドーム」を解体せずに残し、練習場所を確保していく考えです。
27	ドームを壊すのであれば、新しい施設はオホーツクドームと同等以上の規模にしてほしい。	既存の2施設は老朽化により統合し、新たに「新屋内運動施設」を整備する考えです。天井高や広さなどの仕様については、今後予定している「施設利用団体や市民ニーズを踏まえた導入機能の検討」の中で検討していく考えです。
28	現在は有料利用者よりも無料のランニングコース利用者が優遇されているように感じる。新施設で無料エリアを設ける場合は、有料エリアとは別の場所に設けるなど、明確に区分（ゾーニング）すべきである。	屋内施設等に「無料のランニングコース」は設けておりませんが、ご指摘の動線分離や区分（ゾーニング）につきましては、今後の「施設整備や維持管理・運営手法の検討」の中で、明確な利用ルールの策定を含め検討してまいりたいと考えます。
29	球場をもっと広く大きくしてほしい。また、車いすや体が不自由な人でも利用できる球場にしてほしい。	ご要望のバリアフリー対応につきましては、今後の「施設整備や維持管理・運営手法の検討」の中で、誰もが安全・快適に利用できる環境づくりを目指してまいりたいと考えます。
30	ドームを今よりもっと大きくし、のびのびと安心して使えるようにしてほしい。冬は屋内で練習できる場所が少なく、練習時間が減ってしまうのが不安であるため、たくさん練習できる場所を確保してほしい。	既存の2施設は老朽化により統合し、新たに「新屋内運動施設」を整備する考えです。天井高や広さなどの仕様については、今後予定している「施設利用団体や市民ニーズを踏まえた導入機能の検討」の中で検討していく考えです。
31	新しい施設を作る間に練習ができなくなるのは避けてほしい。今まで通り練習できる場所があると助かる。	「新屋内運動施設」が完成するまでの間は、「オホーツクドーム」を解体せずに残し、代替施設として利用可能にします。これにより、工事期間中も練習を継続できる環境を確保していく考えです。
32	今壊れているところを直して、これからも使えるようにしてほしい。野球の練習が続けられる環境を作ってほしい。	市営野球場、スパーク網走、オホーツクドームは劣化が著しく、改修は大規模なものとなるため、将来を見据え「建替え・集約」とする考えです。なお、新施設完成までは「オホーツクドーム」を解体せずに残し、練習場所を確保していく考えです。

33	大きな練習場を作ってほしいです	既存の2施設は老朽化により統合し、新たに「新屋内運動施設」を整備する考えです。天井高や広さなどの仕様については、今後予定している「施設利用団体や市民ニーズを踏まえた導入機能の検討」の中で検討していく考えです。
34	ドームやスパークをなくすと冬の練習機会が減り、北見などのチームと実力差が開いてしまうため、なくしてほしくない。	老朽化した既存2施設は統合し、運動公園内に「新屋内運動施設」を建設することで、冬でも練習できる環境を維持します。また、新施設完成までは「オホーツクドーム」を解体せずに残し、練習場所がなくなる期間（空白期間）が生じないように配慮してまいりたいと考えます。
35	現在の公園は小さい子供向けの安全なものばかりになっている。中学生なども楽しめる設備を作ってほしい。	本構想では、新屋内運動施設の隣接地に「新遊具広場」を整備する考えです。具体的な遊具等は未定ですが、今後の「導入機能の検討」において、検討してまいりたいと考えます。
36	野球ができる場所が減ると、チーム練習や個人練習が十分にできなくなる。場所をなくすのではなく、他のスポーツと同じように環境を整備してほしい。	老朽化した市営野球場の機能は「スポトレ野球場」へ集約し、新たに「夜間照明設備」を設置する考えです。これにより夕方以降の利用が可能となり、練習量の確保と環境向上に努めていく考えです。
37	市営球場やスパーク網走がなくなると、練習場所がなくなり、練習頻度が少なくなってしまうので困る。新しい施設を作ってほしい。	老朽化した市営野球場を解体して機能を「スポトレ野球場」へ集約し、夜間照明の新設により練習環境を拡充する考えです。また、「スパーク網走」と「オホーツクドーム」を統合した「新屋内運動施設」を運動公園内に建設し、市内のスポーツ拠点を再編していく考えです。
38	トイレをもっときれいにしてください	新施設では、多機能トイレや洋式化など、誰もが快適に利用できる設備を整備します。既存のトイレにつきましても、清掃強化や老朽化対策を含め、環境改善に努めてまいりたいと考えます。
39	スポトレ野球場をNPB（プロ野球）基準のメインスタジアムへ進化させ、照明拡充や将来的なドーム化検討を含めた「滞在型ボールパーク」へ転換することで、交流人口の拡大と経済効果（稼ぐ力）を最大化してほしい。	本構想では、機能を「スポトレ野球場」へ集約し、「夜間照明設備」の設置により機能強化を図る考えです。一方、プロ対応や「ボールパーク化」につきましては、維持費や費用対効果を見極める必要があるため、今後の「導入機能」や「運営手法の検討」において、財政負担とのバランスを考慮し議論してまいりたいと考えます。

40	「網走でなければできない指導」を確立するため、内野ノックや投球練習（18.44m）が可能な道内最大級の屋内施設や、先端テクノロジーの常設を要望する。これらを「野球版・地域留学」につなげ、若年層の流出防止と獲得を目指すべき。	「新屋内運動施設」の天井高や広さなどの仕様については、今後予定している「施設利用団体や市民ニーズを踏まえた導入機能の検討」の中で検討していく考えです。
41	Park-PFI等の活用によりカフェやショップを誘致し、収益モデルを確立すること。また、雪氷熱エネルギー活用や防災機能の強化、さらには大曲地区の氷上競技施設の集約による「夏冬共栄ハブ」化を検討してほしい。	PPP/PFIの導入検討や高効率設備の導入によるランニングコストの抑制など、実効性の高い事業計画を目指していく考えです。なお、大曲地区の施設集約については、本構想の範囲外ですが、将来的な課題として捉えてまいります。
42	単純な施設減少はスポーツ振興に逆行するため、既存施設の撤去は慎重に行い、競技に必要な総面積・練習量を確保してほしい。また、移行期に練習できない「空白期間」が生じないように配慮してほしい。	将来にわたる施設維持のため、総量の適正化は避けられませんが、スポトレ野球場への「夜間照明設置」や「新屋内運動施設」の整備により、練習環境を確保する考えです。懸念される「空白期間」につきましても、新施設完成までは「オホーツクドーム」を解体せずに残し、練習場所がなくなる期間（空白期間）が生じないように配慮してまいりたいと考えます。
43	プロ野球の試合ができる球場を造ってほしい。市営球場は夏の使用者が多いため、つぶさないでほしい。甲子園を目指せる環境（部員が集まる施設）を網走に創ってほしい。	老朽化した市営野球場は解体し、機能を集約する「スポトレ野球場」に「夜間照明設備」を新設することで練習時間を拡大する考えです。プロレベル機能等については、今後の「施設利用団体や市民ニーズを踏まえた導入機能の検討」において、維持費とのバランスを考慮しつつ議論してまいりたいと考えます。
44	秋冬や雨天時の練習場所が1つになると、練習回数が少なくなるのが心配である。	老朽化した「スパーク網走」と「オホーツクドーム」は統合し、現在の運動公園内に「新屋内運動施設」を建設する計画ですが、単に減らすだけではなく、効率的で使いやすい施設の整備を目指してまいりたいと考えます。
45	バスケやイベントだけでなく、アイスホッケーもできるアリーナを造ってほしい	「氷上利用」等の具体的機能は未定ですが、コストや既存施設との役割分担を踏まえ、今後の「導入機能の検討」において慎重に検討してまいりたいと考えます。
46	市の財政負担を最小限に抑えるため、新しく建設するのではなく既存施設を修復・整備し、足りない部分のみを設置するなどして対応してほしい。	対象3施設は老朽化が著しく修繕では将来の維持が困難なため、トータルコストを考慮し「統合・建替え」を行う考えです。新施設は「身の丈に合った規模」とし、費用の抑制に努めていく考えです。
47	施設が利用できない「空白期間」が少ない方が、利用する側としてはとても助かる。	新施設完成までは「オホーツクドーム」を解体せずに残し、練習場所を確保していく考えです。

48	スパークとオホーツクドームがなくなり新しい施設が1つになると、チームが殺到して今よりも練習時間が減ってしまうのではないかと不安である。	老朽化した「スパーク網走」と「オホーツクドーム」は統合し、現在の運動公園内に「新屋内運動施設」を建設する計画ですが、単に減らすだけではなく、効率的で使いやすい施設の整備を目指してまいりたいと考えます。
49	不便になるので、スパーク網走とオホーツクドームは存続させた方がいい。	既存の2施設は老朽化が著しく修繕では将来の維持が困難なため、トータルコストを考慮し「統合」を行う考えです。なお、新施設完成までは「オホーツクドーム」を解体せずに残し、練習場所を確保していく考えです。
50	呼人ドーム（オホーツクドーム）やスパークをなくさないでほしい。冬になると練習場がなくなって、練習ができなくなるから困る。	老朽化した既存2施設は統合し、運動公園内に「新屋内運動施設」を建設することで、冬でも練習できる環境を維持する考えです。また、新施設完成までは「オホーツクドーム」を解体せずに残し、練習場所がなくなる期間（空白期間）が生じないように配慮してまいりたいと考えます。
51	市営球場をなくさないでほしい。なくなると、試合や練習する所が無くなってしまう。	老朽化した市営野球場の機能は「スポトレ野球場」へ集約し、新たに「夜間照明設備」を設置する考えです。これにより夕方以降の利用が可能となり、練習量の確保と環境向上に努めていく考えです。